



3Dメガネ

取扱説明書 / 保証書

PK-AG3

LCT2721-001A

お買い上げありがとうございます。

ご使用前に「本書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

安全上のご注意

絵表示について

「本書」には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

| | | |
|--|-----------|---|
| | 警告 | ●この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。 |
| | 注意 | ●この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。 |

絵表示の説明

- 注意（警告を含む）が必要なことを示す記号
- してはいけない行為（禁止行為）を示す記号
- 必ずしてほしい行為（強制指示行為）を示す記号



| | |
|-----------|--|
| 警告 | |
| | ●落としたり、分解・改造をしないでください。破損や故障の原因となります。 |
| | ●3Dメガネを火の中に入れて、加熱したり、高温になる場所に放置したりしないでください。 ※本製品はリチウムポリマー充電電池を内蔵しているため、発火・破裂による火傷や火災の原因になります。 |

| | |
|-----------|---|
| 注意 | |
| | ●3D映像の視聴は必ず3Dメガネを装着してください。また、裸眼で3D映像を視聴しないでください。体調不良の原因となります。 ●光過敏の既往症のある方や心臓に疾患のある方、体調不良の方は3Dメガネを使用しないでください。 |
| | ●3D映像を視聴中、目の疲労や気分が悪くなるなどの不快な症状がでることがあります。体調に変化を感じたときは、すぐに視聴を中止し、必要に応じて医師に相談してください。 ●お子様（特に6歳未満の子）が3Dメガネを使用する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様は、疲労や不快などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなる場合があります。お子様に体調の変化がないか、ご注意ください。 ●3Dメガネに異常・故障があったときは直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると、目の疲労や気分が悪くなるなどの不快な症状がでることがあります。 ●3Dメガネを装着するときは、フレームの先端が目に入らないようご注意ください。けがの原因となることがあります。 ●3Dメガネのヒンジ部に指をはさまないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。 ●3Dメガネは3D映像の視聴中のみ装着し、3Dメガネを装着したまま移動しないでください。 |
| | ●充電時は、付属の充電ケーブルを使用してください。他のケーブルによる充電は、液もれや、発熱、破損の原因になることがあります。 |
| | ●付属の充電ケーブルは3Dメガネの充電以外の用途に使用しないでください。けがの原因になることがあります。 ※発熱・発火・故障の原因となることがあります。 |
| | ●一般ごみに混ぜて、本機を捨てない。 本機はリチウムイオン電池を内蔵していますので、ごみ収集作業時に圧力や衝撃が加わり、発火・発熱・破裂・液漏れなどの危険があります。地域の廃棄ルールに従って捨ててください。 |

使用上のご注意

■ 保管および使用場所

- 高温または低温では3Dメガネは十分な性能を発揮できません。使用温度範囲（5℃～35℃）
- 蛍光灯をご使用の部屋で視聴すると、部屋全体の明かりがちらついて見えることがあります。このような場合は、蛍光灯を暗くしたり、消したりして視聴してください。
- 湿度や温度が高くなるとともに保管しないでください。
- 3Dメガネは、3Dシンクロナイザーからの電波を受信して動作します。3Dメガネの近くで強い電磁波を生じる機器（携帯電話、ハンディ無線機など）を使用しないでください。誤動作の原因になります。

■ お手入れについて

- 本機の汚れは乾いた柔らかい布などで取ってください。
- やわらかい布にはこりなどが付着していたり、ティッシュペーパーなどを使用すると、製品にキズがつきます。
- シンナーなど化学薬品は使用しないでください。

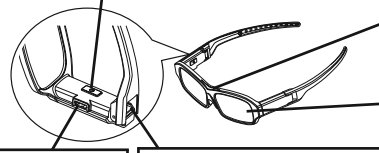
■ その他

- 本機は、当社製3D対応プロジェクターおよび当社製電波式3Dシンクロナイザーとの組み合わせでご使用になります。
※3D対応機器については、当社ホームページをご覧ください。
- 3D映像の見え方には個人差があります。
- 3D映像を視聴中は、定期的に休憩をとることをおすすめします。
- 3Dメガネは正しく装着してください。また、プロジェクターと水平な状態で視聴してください。横になったり、顔を傾けたりすると、3D効果を感じにくくなったり、映像の色が変わったりすることがあります。

各部の名前とはたらき

■ 電源ボタン（3Dメガネ右内側）

- 電源 ON/OFF：1回短く押します。
- 2D/3Dモード切替：
3D映像を視聴中に、ダブルクリックするたびにモードが切り替わります。電源 ON 時は、必ず「3D」モードになります。
- 登録：3Dメガネを3Dシンクロナイザーに登録するときにも使用します。登録については、別記参照してください。



■ ノーズピース

上下方向位置を調整します。（着脱可）

■ 液晶シャッター（レンズ）

■ 充電端子

（3Dメガネ右下側）
充電時に充電ケーブルを接続します。

■ インジゲータランプ

- 赤く点灯または点滅して、下記の状態を示します。
- 電源を入れたら、3秒点灯します。
- 電源を切ると、一度点灯後ゆっくり消灯します。
- [2D]モード切替時は、2回点滅します。
- [3D]モード切替時は、1秒点灯します。
- 登録中は、1秒ずつ点灯と消灯を繰り返します。
- 登録が完了すると6回連続で点滅します。
- 電池残量が少なくなると、2秒に1回点滅し続けます。
- 充電中は、点灯したままになり、完了すると消灯します。
- 無線信号が途絶えると1秒ずつ点灯と消灯を繰り返します。60秒間途絶えたままだと、自動で電源が切れます。

登録（ペアリング）

お買い上げ後初めて3Dメガネをお使いになるときは、初期登録を行ってください。

- ① 3Dが視聴できる状態で、3Dメガネを3Dシンクロナイザーから1m以内に置いてください。
- ② 3Dメガネの電源ボタンを1回短く押してください。インジゲータランプが3秒点灯し電源が入ります。
- ③ 3Dメガネの電源ボタンを1秒以上長押しして、指を離してください。インジゲータランプが1秒ごとに点灯と消灯を繰り返し、登録を開始します。
- ④ インジゲータランプが6回高速で点滅したら登録完了です。そのまま3D映像をお楽しみください。
●初期登録後は、3Dメガネの電源が入れば、自動的に再接続するようになります。

別の電波式3Dシンクロナイザーとの組合せで使用する場合や、3Dメガネが正しく動作しない場合は、同じ手順で、再登録を行ってください。

電池の充電

電池残量が少なくなると、3Dメガネの電源を入れたときにインジゲータランプが2秒に1回の点滅を繰り返すようになります。（早めの充電をおすすめします。）

- ① 3Dメガネの電源を切ってください。
- ② 充電ケーブルのUSB microB側を3Dメガネに接続してください。
- ③ 充電ケーブルのUSB A側を通电しているUSB変換ACアダプターやパソコンなどのUSB端子*と接続してください。
- ④ インジゲータランプが点灯し、充電が始まります。
●インジゲータランプが消えたら、充電完了です。（約1.5時間かかります。）
※USB2.0以上のAコネクタ（メス）

付属品

| | |
|-------------------------------------|----|
| 収納袋 | 1個 |
| 充電ケーブル USB A（オス）- USB microB（オス） | 1本 |

仕様

| | |
|-------------|---|
| レンズ方式 | 液晶シャッター方式 |
| 寸法（幅×高さ×奥行） | 170mm x 40mm x 165mm |
| 使用温度範囲 | 5℃～35℃ |
| 使用電源 | DC5V、70mA |
| 電池 | リチウムイオンポリマー充電電池 60mAh 使用時間：約100時間*1 充電時間：約1.5時間*1 |
| メガネ動作範囲*2 | 3Dシンクロナイザーから半径10m以内（遮断物なし） |
| 質量（電池含む） | 約38g |
| 材質 | フレーム、ノーズピース：樹脂 レンズ部分：液晶ガラス |

*1 使用時間・充電時間について

- 充電電池は使用を繰り返すうちに劣化し、次第に使用時間が短くなります。上記の数値は工場出荷時の状態を示すもので、性能を保証するものではありません。

*2 メガネ動作範囲

- 視聴可能範囲以上離れたら、3Dガラスが正常に動作しなくなることがあります。

| | | | |
|----------|-----|---------|----------|
| 型名 | | 製造番号 | |
| PK-AG3 | | | |
| お客様 | お名前 | ふりがな | |
| | ご住所 | 様 | |
| お買い上げ年月日 | | 保証期間 | お買い上げ日から |
| 年 月 日 | | 本体 1 年間 | |
| お買い上げ店 | 住所 | 店名 | 電話 |

持込修理

This warranty is valid only in Japan.

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているか確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。
2. ご贈答品等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
5. 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取り扱いについての説明書をご覧ください。

修理メモ

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間中、及びその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただきます場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行なうことをお約束するものです。

1. 保証期間中、取り扱いについての説明書及び本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、無料修理をさせていただきます。お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。
2. 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又はJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
3. 次のような場合は、保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - (1) 本書のご提示がない場合
 - (2) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店の記載がない場合、及び本書に記載の字句（製造番号など）を書き換えられた場合
 - (3) ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (5) 火災、地震、風水害、雷、その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷
 - (6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合
 - (7) 一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用及び車輛（車載用を除く）、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷

- (8) 消耗品（電池など）の消耗
 - (9) 出張修理対象商品の場合
離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - (10) 持込み修理対象商品の場合
修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様の負担とさせていただきます。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担とさせていただきます。
4. この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって（株）JVCケンウッド、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

お問い合わせ先：JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル

0120-2727-87

携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は 045-450-8950

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
http://www3.jvckenwood.com

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

● 分解/改造すること

本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、弊社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
- FH : FH-SS変調方式を表します。
- 1 : 電波干渉距離は10mです。
- : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

2.4 FH 1